



# YMCA

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2008 Sep. 9

No. 609

2008年度 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、  
他人のことにも注意を払いなさい。」  
(フィリピの信徒への手紙 2章4節)

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組む、平和で公正な世界をめざします。

# 自分のいのちと みんなのいのちを大切にすること

YMCAサンホーム施設長 **おきたのぼる 尾北 昇**



鶴見緑地にて

この1年間、全国で約109万人の「いのち」が誕生しました。その一方、亡くなった方は約98万人です。誕生を祝う喜びと、別離の悲しみが同時にあったということになります。サンホームでも昨年は、11名の入居者が天に召されました。

新しく生まれた「いのち」は、輝きに満ち、家族は大切に育てようと精一杯です。しかし、「いのち」の大切さ、尊さを切実に感じるのは、身近な人の「死」によるのではないのでしょうか。失った時に初めて、当たり前のように、与えられている「いのち」に感謝することができるのです。

人は自らの生存のために、他の生き物の「いのち」を奪ってしか生きられない存在と言われています。しか

し、他の人のために自らの「いのち」を与えた人もいます。1954年9月26日、日本YMCAで働いていた協力主事ディーン・リーパー氏は、台風に襲われた青函連絡船洞爺丸が沈没する際に、自らの救命具を少女に渡し、自分は海に沈んで亡くなりました。

後日、その少女は、東京のYMCAを訪ねて来られ、感謝とともにその時の状況を語られました。リーパー氏は、至上の愛と「いのち」を後世に残されたのです。

私たちの活動は、過去の多くの先輩の一つひとつの「いのち」を大切に

する積み重ねに支えられ、今日に至っています。他人の「いのち」や自分の「いのち」を軽んじることの多い昨今、かけがえのないものとして「いのち」を大切にしたい、互いに尊重することのできる、健やかな心をもつ人を育むことが、YMCAの願いであるとともに使命です。

サンホームでは、高齢者支援施設としてさまざまな福祉サービス事業を行い、高齢者の尊厳を守り、より豊かな生活支援を提供しながら、地域の青少年たちをボランティアや職業体験の一環として受け入れていきます。これから社会を担う世代が、多世代の中で自分との関わりを理解し、社会性を身につけ、夢を持った、成熟した大人となるよう成長を見守り、関わりを積み重ねてまいります。

### 地の塩

▼地球環境問題が議論され始めて久しくなる。二酸化炭素削減、資源の再利用など、国レベル、個人レベルでも対応を考え実践され始めてきた▼先日、私はフィリピンのパヤタスというところを訪ねた。そこはマニラから2時間ほどのところにあるケソンシティの近くにある廃棄物処理場であり、それが小高い山となった場所である。かつては谷があり、そこに廃棄物を投棄していたのであるが、何十年も捨て続けたゴミは小高い山になっていったのである▼そこにいる80歳を超える婦人を訪ねた。彼女は30歳の時にパヤタスに入り、50年以上もそこに住み続けている。今では孫を含む3世代がこのゴミの山を生活の糧としている。その山を見上げると、引切り無しにダンブカーが廃棄物を積んで登ってゆく。そしてあらゆるゴミを投げ捨てているのが見えた。その周辺を人が動いている。彼らはそのゴミの中からプラスチック、金属、ゴム、マツトレスなど再利用可能なものを選択別収集し、その村にある再利用工場に売りに行く。炎天下、有毒なパイオガスが発生している山に登り、黙々と仕事をしている。一日の収入は1ドルとのこと▼リサイクル、再利用、どれも環境問題を考えれば美しい言葉である。しかし、そのシステムが人間を搾取しながら機能している姿を見て重い気持ちになった。美しい地球、持続可能な開発のため、特定の人間が搾取され、人としての尊厳が無視されているのではないだろうか。環境問題の難しい一面を見る思いであった。(H.N)